

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭化工株式会社 枚方工場	階数	地上4F
建設地	枚方市茄子作南町1145番地他(2街)	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年8月10日
敷地面積	6,540㎡	作成者	松田典子
建築面積	1,719㎡	確認日	2017年8月22日
延床面積	5,479㎡	確認者	河合政也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (0 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 76% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 76% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 76% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>景観に配慮して周囲の建物と色味を合わせつつ、庇などにアクセントカラーを使用し、単なる無機質な工場にならないように計画している。また、なるべく敷地の外周部に緑地を設けることで敷地外からでも緑を楽しめるようにした。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材はすべてF☆☆☆☆以上のものを使用する計画としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>リフレッシュスペースを豊富に設けた。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地面積の20%以上を緑地とし、なるべく敷地外周部に配置した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を使用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特になし</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>市の指導に従い、雨水流出抑制施設や十分な駐車・駐輪スペース、緑地等を設けている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0064

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)旭化工株式会社 枚方工場 新築工事						
		建設地	枚方市茄子作南町1145番地他(2街区12~22画地)、交野市星田北5丁目4535番地他(3街区12~22画地)						
		用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-			
	CO2削減					4			
	省エネ対策					3			
	みどり・ヒート アイランド対策					2			
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告							報告しない		
【評価項目】									
省エネルギー対策		① CO2削減							
		② 省エネ対策							
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価							2.6
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価							3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価							4.3
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価							2.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価							3.8
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策							
項目		評価内容				スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0			
その他									
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項				
特に配慮した事項									